

オノマトペアについての参考文献

作成：三上京子

<書籍>

- I. S. P. ネーション, 吉田晴世・三根浩訳 (2005) 『英語教師のためのボキャブラリー・ラーニング』 松柏社
- 秋元美晴 (2002) 『よくわかる語彙』 アルク
- 阿久津智 (1994) 『絵でわかるぎおんご・ぎたいご：日本語の表現力が身につくハンドブック』 アルク
- 天野成昭・近藤公久 (2000) 『N T Tデータベースシリーズ 日本語の語彙特性 第7巻』 三省堂
- 有賀千佳子・大淵裕子・桜木和子・桜木紀子・玉置亜衣子 (2001) 『ことばの意味を教える教師のためのヒント集』 武蔵野書院
- 今村和宏 (1996) 『わざー光る授業への道案内』 アルク
- 大坪併治 (1989) 『擬声語の研究』 明治書院
- 荻原稚賀子 (2006) 『絵でわかる日本語使い分け辞典 1000』 アルク
- 荳阪直行編著 (1999) 『感性のことばを研究する』 新曜社
- 筧壽雄・田守育啓編 (1993) 『オノマトピア：擬音・擬態語の楽園』 勁草書房
- 門田修平編著 (2003) 『英語のメンタルレキシコン 語彙の獲得・処理・学習』 松柏社
- 工藤真由美 (1999) 『児童生徒に対する日本語教育のための 基本語彙調査』 ひつじ書房
- 国広哲弥 (1997) 『理想の国語辞典』 大修館書店
- 編 (1982) 『日英語比較講座 第4巻 発想と表現』 大修館書店
- 黒川伊保子 (2004) 『怪獣の名はなぜガギグゲゴなのか』 新潮社
- 国立国語研究所 (1980) 『日本人の知識階層における話しことばの実態—語彙表—』
- (1984) 『語彙の研究と教育 (上)』
- (1985) 『語彙の研究と教育 (下)』
- (1984) 『日本語教育のための基本語彙調査』 秀英出版
- (2000) 『日本語基本語彙—文献解題と研究—』
- (2001) 『教育基本語彙の基本的研究—教育基本語彙データベースの作成—』
- (2001) 『日本語教育指導参考書 19 副詞の意味と用法』
- 国立国語研究所編 (1964) 『分類語彙表』 秀英出版

- (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』 大日本図書
- 小嶋孝三郎 (1972) 『現代文学とオノマトペ』 桜楓社
- 小松英雄 (1981) 『日本語の音韻 日本語の世界 7』 中央公論社
- 専門教育出版編集部テスト課編 (1998) 『改訂 品詞別・A～Dレベル別 1万語語彙分類集』
専門教育出版
- 玉村文郎 (1987) 『NAFL 日本語教師養成通信講座 7 日本語の語彙・意味』 アルク
- 田守育啓 (1991) 『日本語オノマトペの研究』 神戸商科大学経済研究所
- (2002) 『オノマトペ 擬音・擬態語を楽しむ』 岩波書店
- 田守育啓・ローレンス・スコウラップ (1999) 『オノマトペ：形態と意味』 くろしお出版
- 土居光知 (1933) 『基礎日本語』 六星社
- 富川和代, 永保澄雄・稲垣宏明監修 (1997) 『らくらく覚えてどんどん使おう 絵で学ぶ擬
音語・擬態語カード』 スリーエーネットワーク
- 日本語教育誤用例研究会, 佐治圭三監修, 福島泰正編 (1997) 『類似表現の使い分けと指導
法』 アルク
- 日向茂男監修, 尚学図書・言語研究所編 (1991) 『擬音語・擬態語の読本』 小学館
- 日向茂男・日比谷潤子 (1989) 『外国人のための日本語 例文・問題シリーズ 14 擬音語・
擬態語』 荒竹出版
- フェアリンデン・トム (2002) 『わくわく英語フォトブック—擬音語・擬態語—』 情報セン
ター出版局
- 文化庁文化語部国語課 (1983) 『外国人に対する日本語教育の振興に関する報告集』
- 増田アヤ子 (1993) 『ニュアンスがわかる擬声語・擬態語(上級)』 専門教育出版
- 森田良行 (1996) 『意味分析の方法—理論と実践—』 ひつじ書房
- 山梨正明 (2000) 『認知言語学原理』 くろしお出版
- 山本弘子 (1993) 『音とイメージでたのしくおぼえる擬声語・擬態語(初・中級)』 専門教育
出版
- Kazuo Tsuda, Masatoshi Shimano, Geraldine Carter, and Horomi Yamashita. (2000)
Kisetsu; Haruichiban. Kisetsu Educational Group.
- Nation, I.S.P. (2001) *Learning Vocabulary in another Language.* Cambridge University
Press.
- Neustpny, J.V. (1977) *A Classified List of Basic Japanese. 3rd. Printing.* Monash

University. Department of Japanese.

Senko K. Maynard. (1990) *An Introduction to Japanese Grammar and Communication Strategies*. The Japan Times.

Shoko Hamano. (1998) *The Sound-Symbolic System of Japanese*. くろしお出版

Taylor John. (2003) *Linguistic Categorization*. Oxford University Press.

<辞書・事典>

浅野鶴子編, 金田一春彦解説 (1978) 『擬音語・擬態語辞典』角川書店

阿刀田稔子, 星野和子 (1995) 『擬音語・擬態語使い方辞典: 正しい意味と用法がすぐわかる』創拓社

天沼寧編 (1974) 『擬音語・擬態語辞典』東京堂出版

アンドルー・チャン (1990) 『<和英>擬態語・擬音語分類用法辞典』大修館書店

尾野秀一 編著 (1984) 『日英擬音・擬態語活用辞典』北星堂書店

北原保雄ほか編 (1981) 『日本文法事典』有精堂出版

小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹編 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

五味太郎 (1989) 『英語人と日本語人のための日本語擬態語辞典』ジャパントイムズ

島本基編 (1992) 『日本語学習者のための 副詞用例辞典』凡人社

秀文インターナショナル (1990) 『コウビルド英語学習辞典』

白石大二編 (1982) 『擬声語擬態語慣用句辞典』東京堂出版

辻幸夫編 (2001) 『ことばの認知科学事典』大修館書店

田忠魁・泉原省二・金相順 (1998) 『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する 類義語使い分け辞典』研究社

日本語教育学会編 (2005) 『新版 日本語教育事典』大修館書店

野村雅昭・小池清治編 (1992) 『日本語事典』東京堂出版

林巨樹監修 (2001) 『現代国語例解辞典 第三版』小学館

飛田良文・浅田秀子 (2002) 『現代擬音語擬態語用法辞典』東京堂出版

————— (1994) 『現代副詞用法辞典』東京堂出版

文化庁 (1990) 『外国人のための 基本語用例辞典 (第三版)』文化庁

- 牧野成一・筒井通雄(1989)『日本語基本文法辞典』ジャパンタイムズ
- 森田良行(1989)『基礎日本語辞典』角川書店
- 山口仲美(2003)『暮らしのことば 擬音・擬態語辞典』講談社
- Takehi Hisao, Lawrence Schorup and Ikuhiro Tamori. (1996) *Dictionary of Iconic Expressions in Japanese. Trends in Linguistics. Documentation 12*. Mouton de Gruyter.

<論文>

- 阿刀田稔子・星野和子(1989)「日本語教材としての音象徴語」『日本語教育』68号
- 泉邦寿(1976)「擬声語・擬態語の特質」『日本語講座4 日本語の語彙と表現』大修館書店
- 伊藤理英(2002)「オノマトペに関する考察—擬音語と擬態語間の共感覚的比喩表現について—」『日本エドワード・サピア協会 研究年報』16
- (2005a)「古代～中世の『～メク』におけるオノマトペの比喩による意味拡張について」『日本エドワード・サピア協会 研究年報』19
- 大澤(伊藤)理英(2006)「オノマトペにおける～スル形の考察」『日本認知言語学会論文集』第6巻
- 大谷洋子(1989)「擬態語の特徴」『日本語教育』68号
- 生越まり子(1989)「日本語の擬音・擬態語教授上の問題」『日本語教育』68号
- 甲斐睦朗(2002)「現代日本語の基本語彙」『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院
- 加藤和夫(2001)「道がキンカンナマナマやじー——北陸方言のオノマトペ」『月刊言語』30-9 大修館書店
- 加藤久雄・坂口昌子(1996)「後接成分とオノマトペの性質について」『奈良教育大学紀要』第45巻第1号
- 加藤扶久美(1999)「日本語教育における擬音語・擬態語の基本語選定の試み」『富山大学教育実践研究指導センター紀要』No. 16
- 角岡賢一(2001)「日本語オノマトペ語彙派生過程における語基」『竜谷大学国際センター研究年報』第10号
- (2002)「日本語オノマトペ語彙の接辞」『竜谷大学国際センター研究年報』第11号

- (2003) 「日本語オノマトペの多義性について」『竜谷大学国際センター研究年報』第12号
- (2004) 「日本語オノマトペ語彙の語源について」『竜谷大学国際センター研究年報』第13号
- 金庭久美子・川村よし子 (2006) 「日本語学習者のための電子辞書編纂一語の選定と意味の提示順序」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 13 No. 1
- 川口義一 (1996) 「日本語指導の文脈化」『日本語教育異文化間コミュニケーション』北海道国際交流センター
- 関西中国語オノマトペ研究会 (笥壽雄監修, 張勤, 豊春楊, 張静萱, 角岡賢一) (1994) 「[中国] オノマトペ歳時記」『月刊言語』23-1~12 大修館書店
- 金慕箴 (1989) 「中国における日本語の擬音語・擬態語教育について」『日本語教育』68号
- 金田一春彦 (1978) 「擬音語・擬態語概説」(浅野鶴子編『擬音語・擬態語辞典』1978 所収) 角川書店
- 工藤 浩 (1983) 「程度副詞をめぐって」『副用語の研究』明治書院
- 国広哲弥 (1985) 「認知と表現」『言語研究』第88号 日本言語学会
- (1986) 「語義研究の問題点—多義語を中心として—」『日本語学』9月号 vol. 5 明治書院
- (1989) 「五感をあらわす語彙—共感覚比喩的体系」『月刊言語』18-11 大修館書店
- (1994) 「認知的多義論—現象素の提唱—」『言語研究』第106号 日本言語学会
- (2005) 「日本語の語彙」『日本語教師養成講座 講義レジュメ』朝日カルチャーセンター
- 窪田富男 (1988) 「基本語・基礎語」『講座 日本語と日本語教育 6 日本語の語彙・意味(上)』明治書院
- 倉持保男 (1986) 「日本語教育における類義語の指導」『日本語学』9月号 vol. 5 明治書院
- 小林英夫 (1933) 「國語象徴音の研究」『文学』第一卷第八号 岩波書店
- (1965) 「擬音語と擬容語」『言語生活』171号 筑摩書房
- 坂口昌子 (1995) 「教科書に見えるオノマトペ」『奈良教育大学 国文 研究と教育』第18号

- 佐久間鼎 (1959) 「意味と音韻」『日本語の言語理論』恒星社厚生閣
- 佐藤武義 (2002) 「語と語彙構造」『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院
- 鈴木泰 (1979) 「情態副詞の性質についての小見」『山形大学紀要・人文科学』9-3
- 鈴木雅子 (1973) 「<資料1>擬声語・擬態語一覧」『品詞別 日本文法講座10 品詞論の周辺』明治書院
- (1984) 「6 擬声語・擬態語」『研究資料日本文法4』明治書院
- 鷺見幸美 (1996) 「「擬音語・擬態語+する」動詞の分類」『名古屋大学人文科学研究』25
名古屋大学大学院文学研究科
- 田中彰夫 (1984) 「基本語彙と基本語」『日本語学』通巻16号 (『「日本語学」特集テーマ別
ファイル』(3)語彙I 2005 所収) 明治書院
- 玉村文郎 (1971) 「辞書とオノマトペ」『言語学と日本語問題』くろしお出版
- (1979) 「日本語と中国語における音象徴語」『大谷女子大國文』第九号
- (1984) 「音象徴語の語形(その1)」『同志社國文学』第24号
- (1989) 「日本語の音象徴語の特徴とその教育」『日本語教育』68号
- (2000) 「有契化と無契化—音象徴語の語形(その2)—」『日本と中国ことばの
梯 佐治圭三教授古稀記念論文集』くろしお出版
- 田守育啓 (2000) 「日本語オノマトペの『語彙性』および「オノマトペ度」に関する研究」『神
戸商科大学紀要』35
- (2001) 「日本語オノマトペの語形成規則」『月刊言語』30-9 大修館書店
- 築島謙三 (1941) 「邦語における擬声語・擬態語の象徴性について」『心理學研究』第16 岩
波書店
- 津田和男 (2003) 「教科を超えた米での中等日本語教育の実験」『ヨーロッパ日本語教育』7
ヨーロッパ日本語教師会
- 張勤 (2001) 「会うとティンティンカンティンカンして終わりがいいんだよ—中国語
のオノマトペ」『月刊言語』30-9 大修館書店
- 中尾桂子・白海燕・三上京子・湯浅章子 (2002) 「「擬音語」と「擬態語」の境界と認識の
差異—インドネシア語・朝鮮語・日本語の対照から見たオノマトペ—」『K L S 23
Proceedings of the twenty-seventh annual Meeting』Kansai Linguistic Society
- 中野てい子・仁科喜久子 (2006) 「副詞・述語の共起表現提示のための基礎研究 —日本
語作文支援システムのための調査—」『日本語教育方法研究会誌』Vol.13 No.1

- 中道真木男（1991）「副詞の用法分類—基準と実例—」『副詞の意味と用法』国立国語研究所
- 仲本康一郎他（2004）「予期的認知と形容表現：不安に基づく状況把握」『日本認知言語学会論文集』第4巻
- 西尾寅弥（1981）「「擬音語・擬態語」＋する」の形式について」『語学と文学』20 群馬大学語文学会
- 仁田義雄（1983）「動詞に係る副詞的修飾成分の諸相」『日本語学』第2巻第10号 明治書院
- 野田時寛（1987）「擬音語・擬態語の意味と用法の関係について—「基本語用例辞典」の2000語による小調査—」『日本語学校論集』14 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 野間秀樹（2001）「オノマトペと音象徴」『月刊言語』30—9 大修館書店
- （1998）「最もオノマトペが豊富な語（特集KOTOB Aのオリンピック——19競技による「ことばの祭典」）」『月刊言語』27—5 大修館書店
- 畠 郁（1991）「副詞論の系譜」『副詞の意味と用法』国立国語研究所
- 林四郎（1984）「私の基本語彙論」『国語学』通巻16号（『「日本語学」特集テーマ別ファイル(3)語彙I』2005 所収）明治書院
- 日向茂男・笹目実（1999）「語形からみた擬音語・擬態語2」『東京学芸大学紀要第2部門人文科学50』
- 姫野昌子（2005）「音象徴語の機能と用法」『言語文化研究Ⅲ 現代日本語の様相』放送大学教育振興会
- 関 祇英（2000）「擬音語・擬態語の習得に関する試み（その1）示差的特徴を用いた意味分析」『表現と創造』名古屋大学大学院人間情報学研究科 巻号：1
- 星野和子（1991）「擬態語の用法—構文論の観点から—」『講座日本語教育』26 早稲田大学
- 細川英雄（1993）「語音構造から意味・用法へ—二音組み合わせ構造のオノマトペ分析から—」『近代語研究』第9集 武蔵野書院
- 堀井令以知（1986）「擬音語・擬態語の言語学」『日本語学』第5巻第7号 明治書院
- 牧野成一（1999）「音と意味の関係は日本語では有縁か」『言語学と日本語教育』くろしお出版

- 三上京子 (2002) 「日本語オノマトペ指導に関する研究」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 9
No. 2
- (2003 a) 「日本語教育におけるオノマトペ指導の現状とその方策—日本語教育基本オノマトペの選定とその指導への試み—」早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士論文 (未公刊)
- (2003 b) 「上級教材に見られるオノマトペ—統語的特徴の分析と指導の観点—」『早稲田大学日本語教育研究』第2号
- (2003 c) 「日本語教育におけるオノマトペ指導の現状と方策」『ヨーロッパ日本語教育』7 ヨーロッパ日本語教師会
- (2004) 「多義オノマトペの意味・用法の記述と指導の試み—「ごろごろ」「ばたばた」を例として—」『小出記念日本語教育研究会論文集』12
- (2005) 「初級から教えるオノマトペ—基本オノマトペの選定とその教材開発に向けて—」『ヨーロッパ日本語教育』9 ヨーロッパ日本語教師会
- (2006) 「日本語の擬音語・擬態語における意味の拡張—痕跡的認知の観点から—」『日語日文学研究』第57号1巻 韓国日語日文学會
- (2007) 「日本語教育のための基本オノマトペの選定とその教材化」『ICU日本語教育研究』3 (印刷中)
- 武藤彩加 (2000) 「感覚間の意味転用」を支える「メタファー」と「メトニミー」—「共感的比喩」とは何か—『ことばの科学』第13号 名古屋大学言語文化学部言語文化研究会
- 山口仲美 (1986) 「古典の擬声語・擬態語—掛詞式の用法を中心に」『日本語学』第5巻第7号 明治書院
- 湯沢幸吉郎 (1931) 「擬声語の収集」『国語教育』10 (湯沢幸吉郎 (1943) 『国語史概説』所収) 八木書店
- 呂佳蓉 (2004) 「比喩としてのオノマトペ—「ころころ」と「圓滾滾」—」『日本認知言語学会論文集』第4巻
- (2006) 「Symbolic View 再考—オノマトペに見た言語の象徴性」『日本認知言語学会論文集』第6巻
- 渡邊裕子 (1997) 「日本語教育におけるオノマトペの扱いについての一考察」『学校教育学研究』第9巻 兵庫教育大学 学校教育研究センター

Leanne Hinton, Johanna Nicholas, and John Ohala. (1994) Introduction:
sound-symbolic processes. In *Sound symbolism*. Cambridge University Press.
Shoko Hamano. (1994) Palatalization in Japanese sound symbolism. In *Sound
symbolism*. Cambridge University Press.

<オノマトペ出現のデータとした資料>

国立国語研究所 (2006) 「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表 公開版」

<http://www2.kokken.go.jp/goityosa/index.html>

シナリオ作家協会 年鑑代表シナリオ集編纂委員会 (2003) 『'02 年鑑代表シナリオ集』シ
ナリオ作家協会

富山大学ドラえもん学コロキウム 「『ドラえもん』(短編 45 巻) の擬音語・擬態語」

<http://www.inf.toyama-u.ac.jp/doraemon/index.html>

日本脚本家連盟編著 (2004) 『テレビドラマ代表作選集 2003 年度版』日本脚本家連盟協同
組合